

人手が足りない現場を救う

脆弱性対策の 実践法

～精度も網羅性も妥協しない、診断&運用のポイント～

自己紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

経営企画部 ディレクター **瀧沢 翼**（たきざわ つばさ）

外資系戦略コンサルティングファームにて、全社戦略立案、業務効率化、DX推進、M&Aデューデリジェンスなど、多岐にわたるプロジェクトを経験後、2024年9月より現職の経営企画部の立ち上げメンバーとして参画。全社戦略や予算の策定、人事評価制度の設計など、経営上流の意思決定支援を担う一方で、バックオフィス業務フローの標準化・管理の実務にも着手し、組織全体の効率化と競争力向上に向けた仕組みづくりを推進。

DXの進展でセキュリティ対策の需要は高まっている



デジタルサービスの開発・提供
自社で管理すべきデジタル資産

増

×

急速な技術の進化

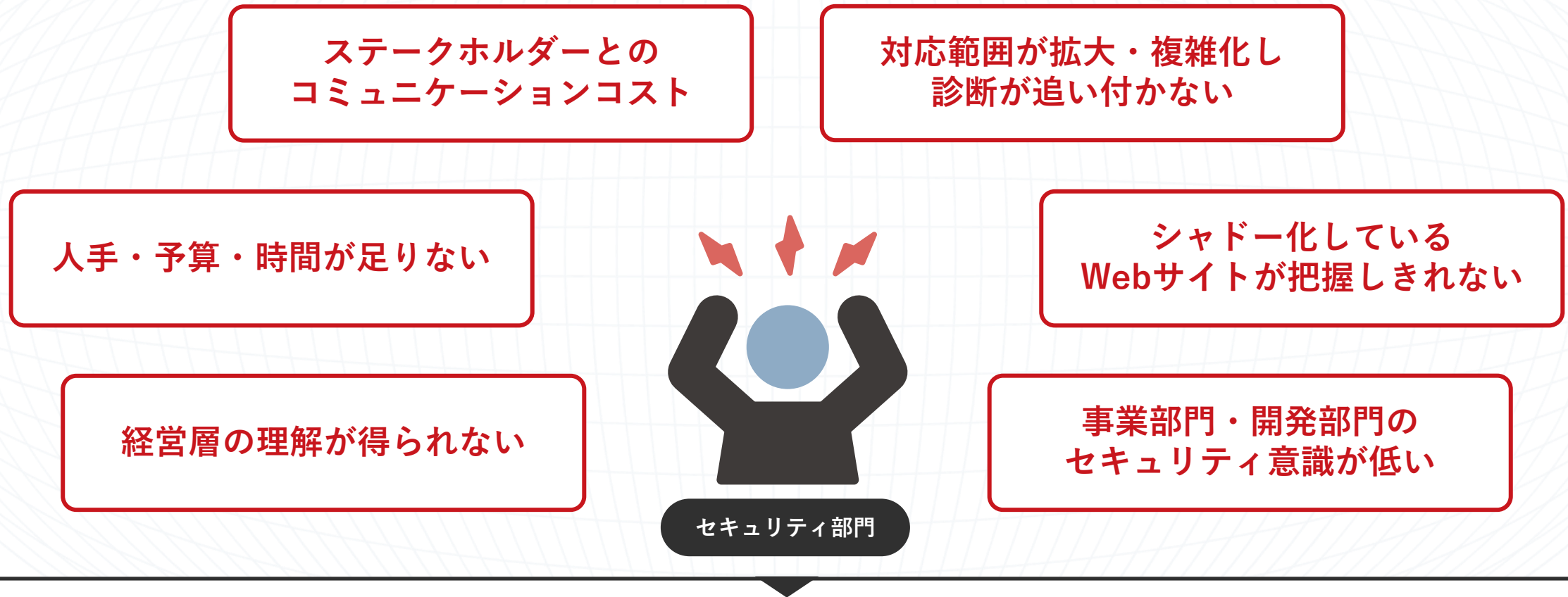
||

必要なセキュリティ対策の

対応範囲は
拡大

難易度は
上昇

自社サービスの脆弱性対策、強化したいけれど・・・



さまざまな課題があることで、網羅的な対策が困難に

よくある課題① 事業部門・開発部門に脆弱性診断できる人が少ない

工数が足りない

日々の業務で手一杯になっており
診断まで手が回らない

スキルが足りない

セキュリティの専門知識がなく
適切に実施できない

よくある課題① 事業部門・開発部門に脆弱性診断できる人が少ない

工数が足りない

日々の業務で手一杯になっており
診断まで手が回らない

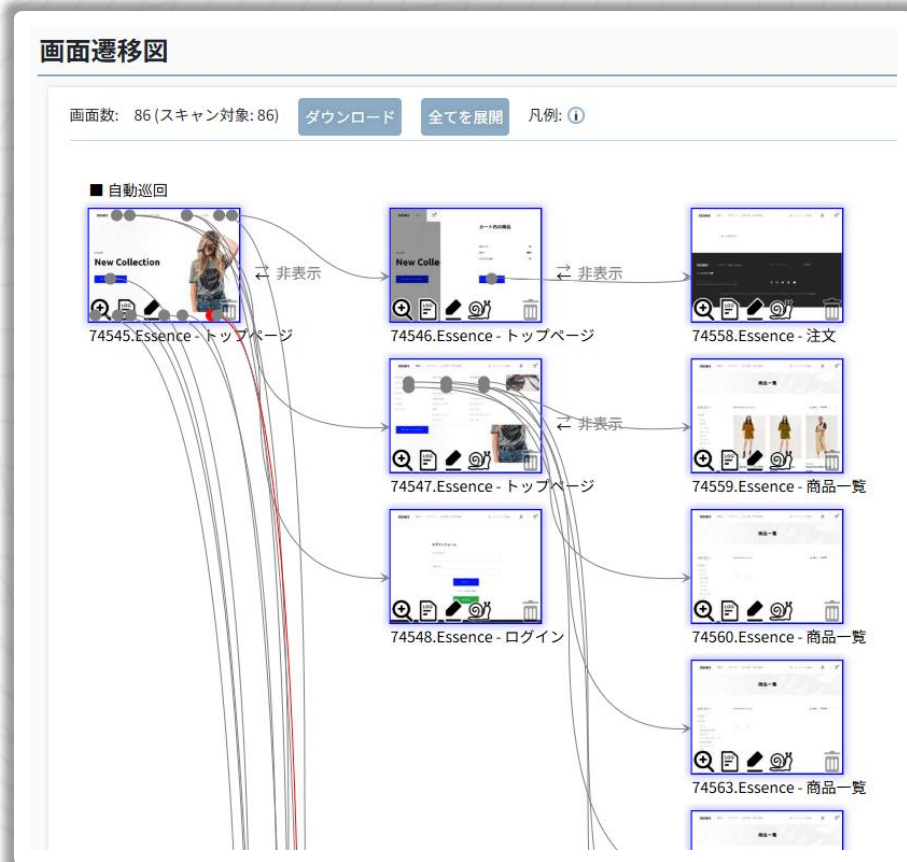
スキルが足りない

セキュリティの専門知識がなく
適切に実施できない

この課題への対策は…

AIのチカラを駆使して**スキルや知識がなくても**
最小限の工数で診断できる方法を考えよう

よくある課題①への対策：AI活用の「誰でも使える」脆弱性診断ツール



深刻度

Medium

CVSS: 6.1 (CVSS:3.0/AV:N/AC:L/PR:N/UI:R/S:C/C:L/I:L/A:N)

スクリーンショット

パラメータ情報

タイプ:	POSTパラメータ
パラメータ名:	prefecture
正常パラメータ値:	%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD
検知時パラメータ値:	%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD"></script></textarea><svg/onload=confirm(38790145)><<script>confirm(38790145)</script>svg/onload=confirm(38790145)><a svg/onload=confirm(38790145)>

検知理由

「38790145」を含んだダイアログが表示されました。

4:28 〇

サイト巡回・画面遷移図・診断を自動化

開発者が理解できるレポートを自動作成

Demonstration

デモ

AI活用のレベルが高いため、自動巡回が高精度で範囲が広い

例：AIによるフォーム入力値の判断処理

課題

フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、**入力エラーとなり遷移できず診断が進まない...**

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

！ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！



クレジットカード

例えば



画像アップロード

フォームを自動認識しラベル化

登録フォーム

姓名	
郵便番号	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

確認する →

自動認識したラベル(赤枠)に応じ
適切な入力値を設定

姓名
姓名(カタカナ)
姓名(ひらがな)
姓
名
姓(カタカナ)
名(カタカナ)
姓(ひらがな)
名(ひらがな)

正常遷移

適切な値を入力

登録フォーム

姓名	巡回 太郎
郵便番号	000-0000
住所	東京都 江東区...
電話番号	03-0000-0000
メールアドレス	taro@example.com

確定 →

生成AIを使えば、巡回はここまで進化できる

認識AIができること

画面上の入力フォームのラベル（氏名など）を
認識AIが判断することでフォームに入力する



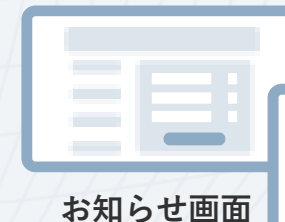
Name Test Taro
Mail ex@mple.com
Submit

入力フォームのラベル



生成AIができること

生成AIを使うことで、人が画面を見るように
「これは商品画面」「これはお知らせ画面」と
判断できる！



お知らせ画面

Name Test Taro
Mail ex@mple.com
Submit

入力フォーム



商品画面

生成AI活用により、攻撃面を高精度で発見できる

Web-ASM機能

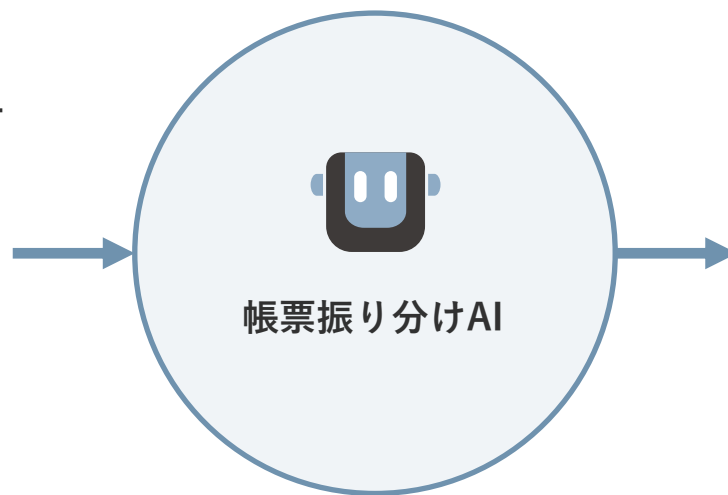
文字列を解読するほか、SSL証明書の情報やWeb公開済みのIR情報など膨大な情報源から総合的に判定。さらに発見経路・理由も提示。

例

山田自動車と、山田自動車部品の膨大な検索結果



🔍 膨大なWebの検索結果



帳票振り分けAI

山田自動車



山田自動車部品



組織外のサイト



AIがWebサイトの属性を自動判定し、重要度をランク付け

2025.6
リリース

① Webサイトの属性を判定し…

サイト用途

Medium

- ECサイト
- VPN管理サイト

Low

- 外部SaaSサイト
- テストサイト

保持データ

High

- 個人情報
- クレジットカード情報

利用技術

Low

- WordPress
- EC-CUBE
- 旧式技術
(JSP/PHP/CGIなど)

② 重要度をランク付け（判定理由も提示！）

セキュリティ対策の優先順位付けを効率的に行えるようになり、
効率的なリソース配分・コンプライアンス強化・包括的なWeb資産管理を実現

「生成AIで脆弱性診断の精度があがることは分かったけど…」



でも、

現場が無理なく 応えられる「仕組み」って、
どうしたら実現できるの？

| よくある課題② 制度・ルールを作って、運用は現場まかせ

ルールが浸透しない

管理ができない

セキュリティ部門が
1人ひとりに細かく
周知・教育できない

新しいWebサイトが
知らないうちに作られ
全体を把握できない

診断案件が並列して
いくつも走っており
進捗管理が大変

よくある課題② 制度・ルールを作って、運用は現場まかせ

ルールが浸透しない

管理ができない

セキュリティ部門が
1人ひとりに細かく
周知・教育できない

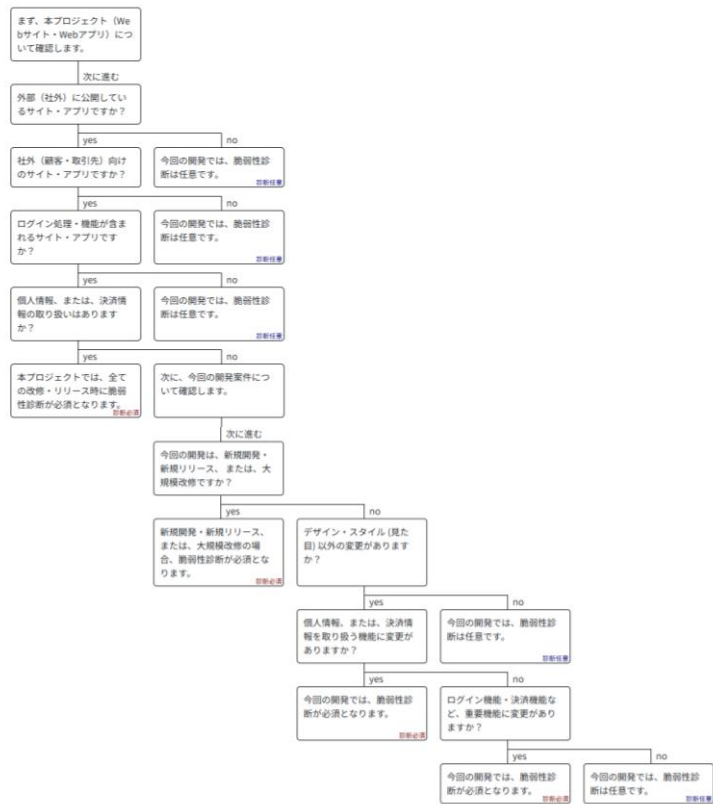
新しいWebサイトが
知らないうちに作られ
全体を把握できない

診断案件が並列して
いくつも走っており
進捗管理が大変

この課題への対策は…

人に任せる・人で頑張るのをやめて
「システム」に任せよう・頑張らせよう

よくある課題②への対策：運用を「仕組み化＝システム化」する



- 深刻度ポリシー

ID ▼	対象 ▲	対応要否 ▼	操作
1	Critical	対応必須	
2	High	対応必須	
3	Medium	対応必須	
4	Low	対応任意	
5	Info	対応任意	

- 脆弱性ポリシー

ID ▼	対象 ▼
8	Apache httpdの脆弱性(CVE-2021-41773) (High) UsingComponentsWithKnownVulnerabilities/httpd/CVE_2021_41773
7	脆弱なApache httpdの利用 (Info) UsingComponentsWithKnownVulnerabilities/httpd/VulnerableHttpd
6	脆弱なPHPの利用 (Info) UsingComponentsWithKnownVulnerabilities/PHP/VulnerablePhp

診断が必要かどうかを判定するチャート

検出した脆弱性の修正ルールを設定

例えば、脆弱性診断の全体進捗を可視化する

陥りがちな状況

 対応が**バラバラ**

 どこまで対策できているのかわからない…

サイトA	サイトB	サイトC
		
後回しで できていない	一部のサイト で診断	新規開発時 のみ診断

AeyeCopilotの導入で実現できること

 すべての診断の状況を**可視化**

⇓

		期限	状態
サイトA	重要度 高	📅 4月1日	✅ 完了
サイトB	重要度 高	📅 6月1日	対応中
サイトC	重要度 低い	📅 5月1日	診断見送り

AeyeScan + AeyeCopilotの合わせ技で、トータルサポート

AeyeCopilotとは？

関連部門の「情報とコミュニケーション」をつなぐプラットフォーム

診断・対策の全体管理や、セキュリティ対策に関する**最適な意思決定**を支援



| 本日のまとめ

人手に頼らない脆弱性対策を無理なく実現するためには

① 脆弱性対策ができる人がいない

→ 誰でも簡単に高精度な診断ができるツールの活用

② 運用でつまずいてしまう

→ 情報を可視化し、現場でルールに則った診断ができる
マネジメントプラットフォームの活用

生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

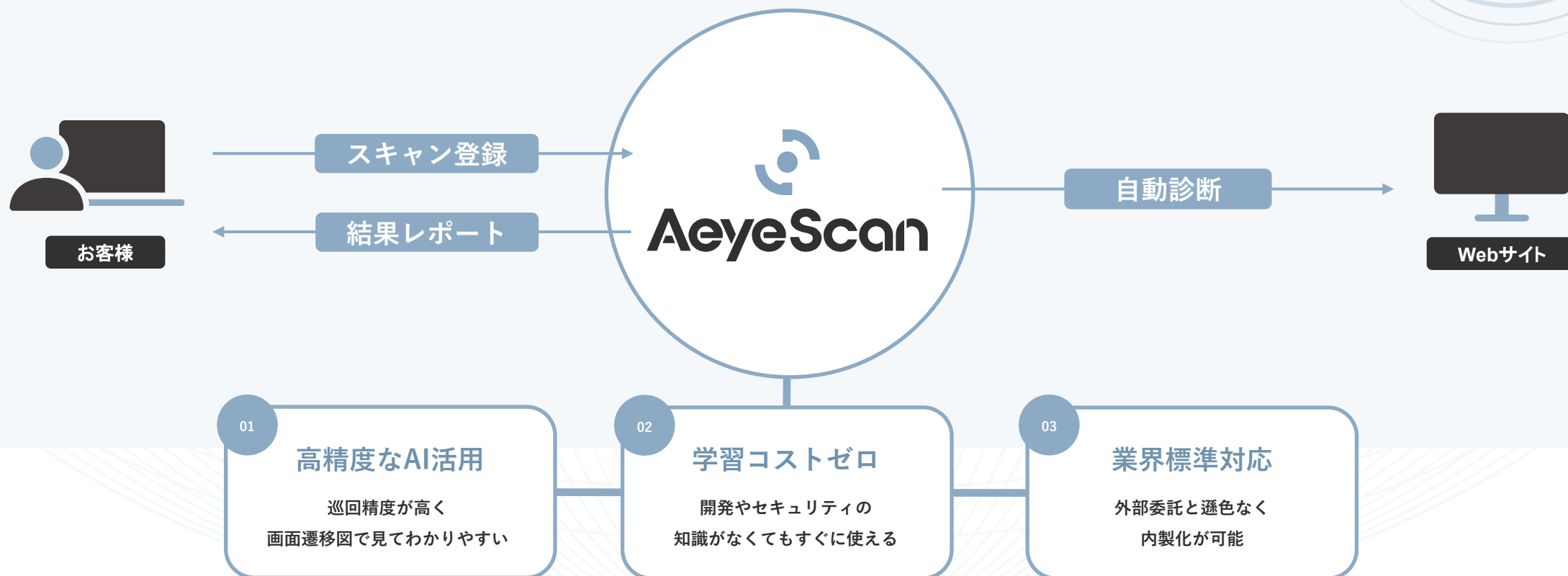
国内市場シェア

No.1※

※ 富士キメラ総研調べ「2024 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール〈クラウド〉2023年度実績

※ ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2024」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2022年度実績）

有償契約
300社以上



さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ



金融



メディア



人材・教育



エンタメ



Leverages

SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうなの？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。